

第39回サイエンスカフェかごしま 「惑星誕生の秘密を解き明かす」

芝池 諭人(鹿児島大学)

2025年6月28日に、鹿児島大学郡元キャンパスからも程近いCafé Espresso 114にて、第39回サイエンスカフェかごしま「惑星誕生の秘密を解き明かす」が開催され、講師として参加しました。主催は鹿児島大学サイエンスカフェかごしま有志の会です。本大学医学部の和田みどり特任研究員と同会会長・本大学農学部の加治屋勝子准教授のご紹介・ご企画により、講演の機会をいただきました。また、カフェCafé Espresso 114の皆様も快く会場と飲み物を提供していただき、大変嬉しく思っています。

サイエンスカフェかごしまは、すでに40回近く開催されている、人気のサイエンスカフェイベントです。天文学に限らず、非常に幅広い分野の研究について、本大学の研究者を中心に講師を招待し、一般向けの講演会を行っています。飲み物などを楽しみながらフランクに参加できることが特徴で、聴講者は講師と自由に質疑応答することができます。大変ありがたいことに、今回は参加上限人数20名の予約があつという間に埋まり、当日のカフェ店内も立ち見も出るほどの大盛況でした。

今回の私の講演では、惑星の誕生の秘密、つまり惑星形成について、研究の歴史から最新の望遠鏡観測やシミュレーション結果に至るまで、丁寧に解説しました。特に、ALMA望遠鏡による多様な原始惑星系円盤の画像や、数値シミュレーションに基づいたCG映像などをふんだんに紹介しつつ、惑星の形成過程の理論モデルや、これまでに観測された系外惑星の質量と軌道の分布など、発展的な内容も扱いました。一般向けの講演会はこれまでにもいくつか行なってきましたが、時間をかけて丁寧に(質疑を合わせて2時間近く!)、そして直接会話をしながら講演をさせていただいたのはこれが初めてであり、少し難しい内容もなんとか理解してもらえたのではないかと思っています。当日行ったアンケートの結果を見ても、多くの方に満足していただけたようです。

また、小学生からご年配の方まで、年齢・性別問わず幅広い方々参加していただきました。特に、少年が目を輝かせて(いるように見えた)話を聞き、内容をきちんと理解した質問もいただけたことは、とても励みになりました。私自身も、小さい頃にこうして天文学やサイエンスの講演会などに参加したことを思い出し、今その体験を次の世代へと提供できたことを、非常に嬉しく思っています。

講演では、私のベルン大学(スイス)での、ポスドクとしての4年間の研究生活についても紹介しました。一般の方からは、研究成果について知る機会はあっても、研究者がどのような研究生活を送っているのか、想像しにくいかと思います。そうした「見えにくい部分」を見せることで、より「研究者とは何か」、さらには「研究することの意義」を、社会を構成する多くの人々に伝えていくことができればと思います。

そして、私にとって新天地の鹿児島の皆様に、私の研究について早速お話しする機会をいただけたことは、とても幸せなことでした。今後も、鹿児島の多くの皆様に、研究とその面白さについて知っていただければと思っています。



サイエンスカフェでの記念撮影